

区分・種別	重要文化財(工芸品)		
名 称	こんどうみっきょうほうぐ 金銅密教法具		
所 在 地	今治市東村		
所 有 者	宗教法人 真光寺	管 理 団 体	
指定年月日	平成23年6月27日		
解 説	本作品は、中世をさかのぼる^{くみほうぐ}組法具として伝存する数少ない遺品として貴重である。^{どうせい と きん}銅製鍍金の密教法具であり、^{とつこしよ}独鈷杵・^{さんこしよ}三鈷杵・^{ごこしよ}五鈷杵は把の中央に配した鬼面がほぼ同じ意匠である。また、^{ごこ}五鈷^{れい}鈴の鈴身に表された^{れいしん}梵字は、^{ぼんじ}鈴身本体を大日如来に見立てて、^{たいぞうかい}胎蔵界^{しぶつ}四仏を表したもので、^{ぎんぞうがん}銀象嵌によって表現された遺例として稀少である。		

